

チェンマイ大学（タイ）

留学に行く実感がわからないまま日本を出発して一ヶ月が経ちました。さっそく学校の一大イベントの登山に参加したり、ナイトマーケットに行ってみたり、新しいことに会う日々で充実した一ヶ月を過ごしました。タイ語の授業はクラスメイトも前期に基礎を学んだうえでこの授業を履修しているため、タイ語を全く勉強したことがなかった私にとってはかなりハードルが高く感じます。しかし、日本語学科のタイ人の子たちと登山イベントで仲良くなったことやバディ制度があるおかげでわからないことはいつでも質問できる環境があるので頑張ってみようと思います。

タイはバイク社会なのですが、私は20-30分くらいかけて徒歩で学校に通っているので、最近歩くことが好きになり週末などは友達と徒歩で旧市街のお寺を回ったりもしています。

また、大学内に観光地となっている大きな池!?!があり、そこを夕方に散歩することにハマっています！

タイ料理も辛すぎることは少なかったり（辛さ控えめにしているから）、果物のスムージーが安くて美味しかったりと食生活も充実しています！



モントリオール大学（カナダ）

授業には慣れましたが、その分授業中の集中力が続かなくなってきてしまいました。気が付くとウトウトしてしまったりすることが増えてきて、睡眠時間をしっかりと取ることに、緊張感を持って授業を受けることを意識していきたいです。また、ある授業のディスカッションではいつも一緒に授業を受けている子が欠席しており一人で、ディスカッションに参加しました。いつもはその子が英語で翻訳してくれたり、助けたりしてくれたのですが、今回は手助けをしてくれる人は当たり前にはいませんでした。ディスカッションに貢献できず、自分の意見もまともに言うことが出来ず、悔しさとグループの子への申し訳なさを感じました。今までその子にどれだけ頼っていたのか実感し、自分のために、自分の力だけで授業を受けられるようにならなければいけないのだと強く感じました。12月の前半で授業は終わるので、残りわずかですが集中して授業を受けようと思います。

ケベック人とフランス人と話していた時に、ある話題で盛り上がりました。

それは「バターを冷蔵庫に入れるか、入れないか」という話です。

我々日本人からすれば、バターは冷蔵庫に入れるものという認識があり、それはフランス人も同じだったのですが、何人かのケベック人は冷蔵庫に入れないようです。

最初は非常に驚いたのですが理由を聞いたところ、多くのケベック人が固いバターが好きではないとのこと（笑）。

パンに塗る時にバターが固ければパンが崩れてしまうと言っており、確かに私も固いバターでパンをぼろぼろにした経験があるので納得しました。

また、買ったすべてのバターを外にしておくわけではなく、一部を切って外に置き、残りは冷蔵庫に入れておくみたいです。

ケベックの冬は寒いから常温でも問題ないとも言っていました。

ウィーン大学（オーストリア）

ウィーンで、親友と呼べる現地の友達ができました。英語のコミュニケーションは問題なくスムーズで、今は友達と過ごす時間が何よりの癒しとなっています。スーパーやカフェではドイツ語で積極的にコミュニケーションを取ることを心がけています。英語はもちろん、ドイツ語に対するモチベーションも高まっています。

通学時間が長いところを省いて、寮の設備にも概ね満足しています。食費が高いため自炊を心がけていますが、日本で3食お米生活をしていた私にとって、お米が気軽に手に入らない環境はやはり辛いです。最近はパスタを茹でるかパンを買ってお腹を満たすという感じなので、もう少し栄養バランスの取れた食事を意識したいと思います。

ウィーンの治安は良好で、夜遅くに歩いても怖い目に遭ったことはありませんが、街では度々デモ活動が行われることがあるため、過激な暴動に巻き込まれないためにも現地のニュースを随時確認することが必要だと感じています。

ハルムスタード大学（スウェーデン）

留学生活も3か月以上が経ちました。最初の不安はなくなり、楽しい瞬間がたくさん増えてきました。11月は履修しているコースの内の2つが終了し、プレゼンテーションとレポート提出をしました。海外の大学で初めてのプレゼンテーションとレポート執筆でしたが、早めに準備していたことや毎日英語学習を欠かさず行っていたことにより、大きな困難なくやり遂げることができました。

3か月もたったのでみんなとの仲も一層深まり、家族のようなメンバーと充実した寮生活を送っています。11月は月末からラップランドに行きました。大学が主催しているイベントでBjörklidenというスウェーデンの北の地域へ行ってきました。バスで1日以上かけて目的地に向かい、現地ではイベントに参加したり、雪を楽しんだり、オーロラを見たりと最高の旅行となりました。一生に一度体験できるかどうか分からない経験をすることができ、とても満足です。

留学は最初の3か月が山場という言葉をよく聞きますが、本当にその通りで、今は毎日楽しく日本にいた時は内向的だった性格が少しずつ変わり、だれかと過ごす時間が大好きになってきています。また11月はインターナショナルデイという互いの国の文化を紹介するイベントがあり、日本人一人でしたが、思い切って参加してみました。折り紙と習字、日本文化を紹介するパワーポイントを作成し、デザートには卵焼きを作りました。とても大きな反響をもらい、日本文化を好きになったという声まで聴けてとてもうれしかったです。